



高校1年 SS 探究 I「特別講義」

9月28日に、高校1年生を対象に東北大学大学院の渡辺正夫教授の特別講義がありました。

「将来に向けたキャリア形成と『考える基礎』となる課題研究のあり方」～近年の新型コロナウイルス禍を踏まえ、課題研究としてできることと将来のキャリア形成を考える～と題して講義をしていただきました。オンラインでしたが、画面越しに伝わる渡辺先生の熱量に、生徒達は大いに刺激を受けていました。渡辺先生、ありがとうございました。

～生徒の感想（一部抜粋）～「私が一番大切だと思っていた『経験』がやはり大切であることを知れて嬉しかった。できる限り経験して、そのことを伝えられるようにしたい。」「自分がやりたいと思ったことは根気さえあればできるのではないかと思った。やりたいという気持ちを無駄にせず、大切にしていくことで自分の思考力を育てることができるのではないだろうか。課題研究も無駄なことではなく、これから生きていく上で必要だと感じられた。」



高校1年 SS 探究 I

「大崎耕土フィールドワーク」

10月5日、爽やかな秋空のもと1学年SS探究Iの学習の一環で「蕪栗沼干拓」「品井沼干拓」「鳴子ダム・内川」の3つのコースに分かれてフィールドワークを行いました。

治水や利水といった水管理をテーマに、世界農業遺産大崎耕土に関する興味関心を高めるとともに、自然科学・農学・工学的な視点で課題を設定し、資料を活用しながら探究する態度を育成することをねらいとして実施したものです。現場に行かないと得られない情報を持ち帰ろうと、どの生徒も意欲的に参加していました。

〈蕪栗沼干拓コース〉見学地

萱刈潜穴／八寸筒／蕪栗沼／田尻総合支所



〈品井沼干拓コース〉見学地

鎌田記念ホール／鶴田川越水堤／元禄潜穴／明治潜穴



〈鳴子ダムコース〉見学地



鳴子ダム／内川



おおさき小中学生自由研究チャレンジ

おおさき小中学生自由研究チャレンジの作品を9月1日～14日で募集したところ、小学生20名から応募がありました。応募していただきました「研究者」の皆さん、ありがとうございました。どの作品も、疑問や関心がストレートに研究に向けられており、研究内容や調査・実験の手法、図や絵の丁寧さは目を見張るものばかりです。校内でも研究ポスターの写しを掲示して、本校生徒が自由に見られるようにしました。



今後は以下の日程で展示発表と交流会を実施します。

○展示発表（10月23日～10月31日）

会場：パレットおおさき

※10月31日以外の期間中は、開館中であればどなたでも自由に作品をご覧いただけます。

○Web発表（10月23日～10月31日）

本校特設Webサイトにて

※応募者、ご家族、審査員等関係者限定公開です。

○交流会（10月31日） 9：00～11：40

会場：パレットおおさき

※感染症対策のため、関係者だけで実施いたします
展示発表期間中は、ぜひ会場へ足をお運びください。

今後のSSH関連事業

○大崎耕土フィールドワーク

（10月28日：中学3年生）

○公開授業研究会（11月10日）

○サイエンス研修（12月／志津川）